

報告：第2号

なでしこ賞・撫子賞の表彰について

I 経過概要

- 1 新しい時代を担う人づくり基金運営委員会の設置
平成4年 「新しい時代を担う人づくり基金運営委員会」設置
委員長 久保田泰夫（山梨大学教授） 副委員長以下委員22人

◆目的

○新しい時代を担う人づくりを目指して、「甲府の教育」の全体像を構築し、創造性豊かな人づくりに資するために、調査・研究及び検討し、その推進を図ることを目的とする。

所掌事項

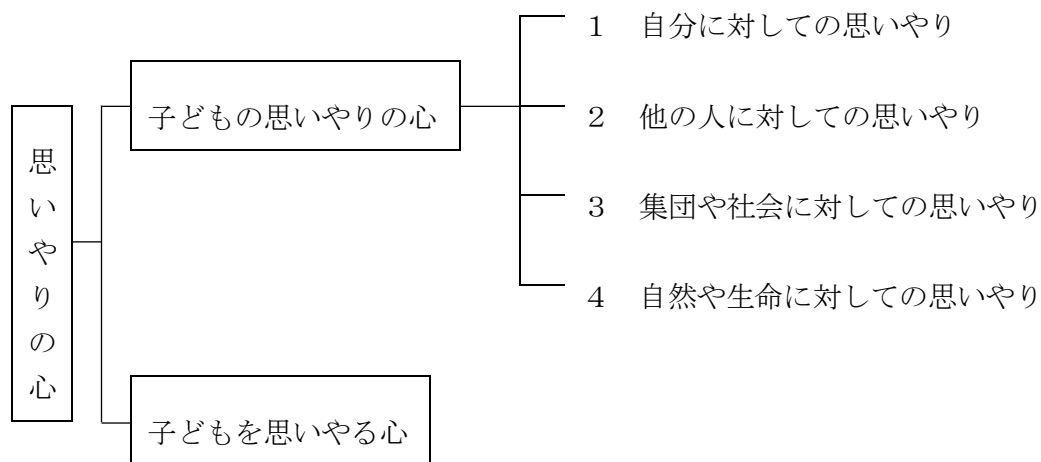
委員会は、次の事項について調査・研究及び検討し、その推進を図る。

- (1) 「甲府の教育」の構築と推進について
- (2) 姉妹都市及び友好都市との教育・文化交流への助成
- (3) 地域社会と学校教育との交流への助成・奨励について
- (4) 児童生徒の望ましい考えや生活態度等への奨励について**
- (5) その他委員会の趣旨に添った事業への助成・奨励について
(新しい時代を担う人づくり基金運営委員会設置要綱より)

◆「甲府の子どもの教育」の設定

○甲府の子どもの教育の中核「思い遣る心」の設定

現在の子どものに欠けている点を考え、さらに将来の子どもの生きる世界を予測し、21世紀の時代を担う子どもの育成を考えて、「思いやり」を次のように広義にとらえた。



(子どもの教育の担い手である親・教師・一般の大人)

*思いやりの心を「思い遣る心」と表現して甲府の子どもの教育の中核とした。

(子ども自身、学校・家庭・地域が主体的、行動的にかかわっていくことが大切)

(参考) 実態調査 (平成4年)

調査対象 小学生4,212名・中学生7,169名・高校生1,588名・父母・一般1,569名

報告：第2号

Ⅱ 「なでしこ賞・撫子賞」経過

- 従来の表彰の概念にとらわれない「なでしこ賞・撫子賞」

友達との望ましい人間関係を作っている者や他の児童生徒の模範となるような善行をした者を表彰する。

◆平成4年度以降の「なでしこ賞・撫子賞」の表彰経過

平成4年度被表彰者

合計127名

以後、各校長の推薦者を本委員会で審査し、毎年40～50程度の個人・団体を表彰。

令和3年度被表彰者

小学校 個人26名 1団体 3名

中学校 個人12名 団体 なし

高校 個人 なし 1団体20名

令和3年度までの被表彰者総合計

5,408名

◆表彰の基本的な考え方及び被表彰者の対象について

新しい時代を担う人づくり基金事業の一環として表彰する児童生徒は、従来の表彰の概念にはとらわれず、次のような条件を満たしている児童生徒を表彰するものとする。

甲府市内の小中高に在学する児童生徒で、友達との望ましい人間関係をつくっている者や、他の児童生徒の模範となるような善行をした者を対象とする。

具体的には次のような行為を実践している児童生徒を対象とする。

「具体例」

- (1) 困っている友達（外国籍児童や下級生も含む）に思いやりの心を持って接し、顕著な援助活動をしている者または団体
- (2) 地域の公共物の愛護や地域の広場・公園等の清掃、長期休業中に花壇の水やり、動物のえさやり等を自主的にしている者または団体
- (3) 一人住まいの老人等困っている家庭の援助活動や社会施設等の奉仕活動を自主的に行っている者または団体
- (4) 子供クラブや育成会の行事、その他、地域の行事等で中心的役割を果たし、積極的に活動に参加したり、下級生の指導や面倒をみるなど地域社会の向上に役立っている者または団体
- (5) 地域の美化や自然愛護の活動を熱心に行っている者または団体
- (6) 家族の一員として、困難な状況を乗り越え、家族愛に燃え、顕著な行動を行っている者

◆令和3年度経過

9/13 各学校長に「なでしこ賞・撫子賞」推薦依頼（11/26提出）

1/12 第2回委員会にて被表彰者の選定・教育長に報告

2/7 表彰式→新型コロナウイルス感染予防のため「中止」
各学校長による表彰伝達に替える

報告：第2号

令和3年度「なでしこ賞・撫子賞」被表彰者

「なでしこ賞」被表彰者（小学校）

小学生 個人の部：善行賞
20人

小学生 個人の部：友達賞
6人

団体の部：善行賞		
校名	団体名	人数
千代田小学校	千代田小児童会	3人

「撫子賞」被表彰者（中学校）

中学生 個人の部：善行賞
7人

中学生 個人の部：友達賞
5人

「撫子賞」被表彰者（高等学校）

校名	団体名	人数
甲府商業 高等学校	インターアクト部	20人

「なでしこ賞・撫子賞」被表彰者数（団体数）一覧

校種	種別	賞名	人数・ 団体数
小学生	個人	善行賞	20人
		友達賞	6人
	団体	善行賞	1団体 (3人)
中学生	個人	善行賞	7人
		友達賞	5人
高校生	団体	善行賞	1団体 (20人)
個人 38人 / 団体 1団体 (23人)			計 61人